



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**60**号

平成26年1月22日

河津町議会だより



元旦マラソン

主な内容

- 年頭のあいさつ..... 2 P
- 平成25年第4回定例会（要旨）..... 3 P
- 町長の行政報告..... 4 P
- 一般質問..... 5～8 P
- 議員研修報告、一部事務組合..... 9 P
- 議会の動き（他）..... 10 P

あけましておめでとうございます 本年もよろしく願い申し上げます

2014年 元旦



年頭のあいさつ

河津町議会議長 川下英一

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には紙面より年頭のあいさつを申し上げます。

昨年は夏から秋にかけての台風などの被害は当町にはなかったものの近隣の西伊豆町、東京都大島町の皆様には災害お見舞い申し上げます。

町内では今井浜サンシップの解体も終わり、見高地区の新たな地域振興施設としての事業が進み、今年度には建設段階に入ることになっています。

12月定例会で町長が行政報告の中で複合機能を併せ持つプールを建設したい旨の構想の発言がありました。4月に実施される町長選挙で再選されなければなりません。お手並み拝見といったところででしょうか。

県にあっては川勝知事が再選しましたが一方で学校教育の全国学力テストでは問題提起のあったことは記憶に新しい出来事でした。

国に於いては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、富士山世界文化遺産登録、和食無形文化遺産登録など明るい話題もありました。

未来がどのような時代であっても私たちは先人が培った「河津」を愛し、長い人生を生き抜いたお年寄りから、生まれたばかりの赤ちゃんまでが縁あって同じ河津で同じ時代を生きる仲間としてすべての町民の安定した生活の維持と、平和で安心の郷土として発展を続け日々の努力を重ね子々孫々の時代に渡す使命を果たさなければなりません。

今年には町長・議員の選挙の年です。町民の皆様と共に更なる知恵を絞り、汗をかき前進したいと思えます。ぜひ、みんなの力で明るい1年にしようではありませんか。あまねく全町民の健康とご多幸を祈念し新年のあいさついたします。

平成25年 第4回定例会 (要旨)

第4回定例会は12月10日から11日まで開かれた。初日は町長の行政報告と4名の一般質問が行われ、2日目は条例案件5件、規約変更1件、町道認定1件、補正予算3件の各議案が審議され、すべて原案どおり可決した。

●議案第63号 河津町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
大規模災害からの復興に関する手当の変更。
(全員賛成)

●議案第68号 静岡県市町総合事務組合規約の変更について
組合員の退会届承認。
(全員賛成)

●議案第64号 河津町緊急地震・津波対策事業基金条例の制定について
計画的に実施する必要がある地震・津波対策事業に要する経費に充てる事業基金。
(全員賛成)

●議案第69号 町道路線の変更について
町道荻ノ入2号線の終点を変更するもの。
(全員賛成)

●議案第65号 河津町税外収入督促等に関する条例の一部を改正する条例について
督促手数料の変更、延滞金の算定数値の変更。
(全員賛成)

●議案第70号 平成25年度河津町一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出総額に121,583千円を追加し、総額をそれぞれ3,968,674千円とするもの。
(全員賛成)

●議案第66号 河津町後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例について
延滞金の算定数値の変更、減免規定の設立。
(全員賛成)

●議案第71号 平成25年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出総額に270千円を追加し、総額をそれぞれ1,374,084千円とするもの。
(全員賛成)

●議案第67号 河津町道路占用料徴収条例及び河津駅前広場の占用及び占用料徴収条例の一部を改正する条例について
道路占用料及び河津駅前広場の占用料の督促手数料等の変更。
(全員賛成)

●議案第72号 平成25年度河津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出総額に3,000千円を追加し、総額をそれぞれ96,467千円とするもの。
(全員賛成)

町長の行政報告 (抜粋)

●平成26年度予算編成方針について

次世代に負担を先送りせず、規律ある財政運営を堅持しつつ、第4次総合計画の着実な推進を図るため4つのテーマを設定。

- ①災害に強いまちづくりに向けた対策の充実強化
- ②子育て支援・教育環境の充実
- ③地域資源を生かした観光交流等の推進
- ④町民生活の向上・安全のための基盤整備の推進

●平成25年度表彰について有功表彰

岩井民夫氏
久保田幸彦氏
感謝状
鈴木みちよ氏
ボランティアグループしらぎく会

●町政地区懇談会

9/26～11/22町内23地区を訪問し、町政報告並びに意見交換。

●町勢要覧について

町制55周年を記念し作成。

●地域防災訓練について

12/1駿河トラフから南海トラフを震源域とした突発型の大規模地震を想定。2,036人の方が参加。

●津波避難対策事業について

笹原地区ケサガ久保の津波避難場所への誘導看板設置工事はさくら建設(株)が1,386千円で落札、契約。

●防災士について

町内に11名の有資格者。河津町防災士会設立に向け

11/13に第1回会議を開催。

●緊急地震・津波対策交付金について

県よりH25～27年度の3カ年分9,000万円を一括配分。基金を設置し運用。

●河津寄って軽トラ市

12/8に笹原姫宮通りで開催。

●町税収納状況について

10月末現在、町税の収納率55.47%で前年対比0.13%の減、国民健康保険税の収納率43.68%で前年対比0.23%の増。

●東河環境センター施設整備等推進協議会について

ごみ処理施設、し尿処理施設とも改修により長寿命化を図る整備方針が決定。

●子ども・子育て支援事業計画策定基礎調査業務委託について

(株)サーベイリサーチセンター静岡事務所が1,207千円で落札、契約。

●児童関連施設整備について

児童関連施設整備検討委員会に対し児童関連施設の基本方針等について諮問。来年度前半をめどに答申書。

●子育てファミリー住宅支援事業について

11月までに74件の申請。3,310万円の補助金を交付。

●災害ボランティア本部運営訓練について

11/17に実施。90名が参加。



●有害鳥獣駆除について

10月末までに549頭(猿、猪、鹿)を駆除。

●見高地区地域振興施設整備事業について

26年1月に工事入札。夏シーズン前に完成予定。

●産業振興関連事業について

泉奥原地区県単水路改修工事は(株)大塩組が7,455千円で落札、契約。

筏場地区県単水路改修工事測量業務委託は、(有)渡辺測量事務所が1,115千円で落札、契約。

森林整備加速化・林業再生事業林業専用道杉久保線整備工事は、斉藤土木(株)が17,955千円で落札、契約。

谷津上ノ山県単治山工事は、(有)加畑組が11,697千円で落札、契約。

河津七滝ジオサイト施設整備工事は、(株)大塩組が29,295千円で落札、契約。

●道路事業について

町道川津筏場・下佐ヶ野2号線道路補修工事は、さくら建設(株)が4,404千円で落札、契約。

町道見高入谷1号線道路改良工事は、山内組が3,769千円で落札、契約。

町道見高入谷1号線舗装補修工事は、世紀東急工業(株)伊東営業所が2,415千円で落札、契約。

一般質問

来年度予算編成の具体的事業内容は町長－温水プール、複合施設の調査を

質問…4件の重点テーマが示されたが、具体的な事業内容は。歳入の町税等、収納率向上の取り組みは。

町長…防災対策は、耐震事業として中学校、東小学校、浜公民館を予定。子育て事業は、県の全額補助事業が終了するので、町独自の事業を予定している。福祉、教育も視野に、温水プールの設置。子育て、生涯学習、

文化活動も含めた複合的施設の建設も調査して参りたい。

財源確保は、町有地の売却等も含め取り組みます。町民生活課長…町税等の収納率向上は、個別財産の差し押え等も含め納付促進に取り組みます。尚、差し押え物件については、インターネットなどを利用した換価も図る計画をしています。

文化財保護と活用は

町長－後世に伝えるための町の施策として



河津平安の仏像展示館(研究調査)

質問…町は、町内の文化財の価値をどう捉えているか。町長…町の歴史文化を考えると貴重なもので、後世に伝えるものであり、町の政策として進めていく。

教育委員会事務局長…指定文化財は登録文化財を含め23件です。重要なものです。

質問…これから町の活性化の為に文化財の活用が必要と考える。施設等の宣伝も必要と思われるので看板等も取り組まれるか。又、教

育に活用し河津の人づくりに取り組む事はできるか。町長…管理費等は補助をさせていただいております。修繕費等は協議の上、別に補助をさせていただきます。文化財を守るのは大切な事ですので、町の施策として取り組みます。

教育委員会事務局長…文化財の案内は、公開が困難なものもあり、宣伝関係も難しいものもありますが、産業振興課と協議しながら取り組みたい。又、学校の授業の場合は難しい部分もありますが、今後は学校でも文化財を取り上げていただく様お願いをしていきます。



渡邊 弘 議員

公衆トイレの実状と対策

町長－学校公衆トイレも改善計画をたてて

質問…町政懇談会で公衆トイレに身障者用トイレがあるが入り口がバリアフリーになっていないので車いすでの利用ができないの意見があった。対応はされたか。又、他の公衆トイレ、学校のトイレの状況を確認されているのか。

町長…バリアフリーの指摘は、すぐに改修工事をいたしました。他の施設についても全て点検をし利用者にとって進めて参ります。

産業振興課長…町管理の公衆トイレは31ヶ所です。特に問題はなかったが、改良の必要のある所は改良をして参ります。

教育委員会事務局長…学校の公衆トイレは、運動会、イベント等も含め避難場所でもあるので今後は、町長の意見もある様に改善計画をたてて進めて参りたい。

新年度予算は暫定か、本予算か 町長－将来見据えた町づくり政策を 立案し本予算とする

質問…町政について

1. 町民の声
2. 新年度予算編成
3. 地区懇談会

町民の個々の意見申し出をどう対処しているか、予算編成は暫定か本予算か、地区懇談会はどうかであったか町長の感想は。

町長…共生・共創・共働の町づくりをと町民参加の町づくりを進めた。これは町民と行政が共通認識での参加できる機会が大切で、町民が何を求めているかである。地区懇談会は23地区で町政に対する不安、町政に求めている意見・要望を聞いた。町民は話す場がないとの事で参加者が少ない地区もありながらも町民の声を聞く機会を持ちたい。町政全般の取組みなど情報発信を求められた。町はこの

要望・提案を真摯に受け町づくりに反映したい。新年度予算は本予算としたい。

質問…職員は町長の意向を理解し実行しているか。

例えば

1. 古着回収の町民対応
2. 農業振興地域整備計画の町民への説明
3. デイサービス参加者の町内めぐりは

町長…個々の問題点は担当課が対応するが別の視線からしっかり検証し職員に指導していきたい。新年度予算は将来見据えた町づくりの政策を立案し予算編成に当たる。継続事業、新たに取組む事業を予算化した。

産業振興課長…農業振興整備計画は5年で町の計画を見直し実施をしており平成23年11月町の広報誌に掲載



土屋 条太郎 議員

した。

町民生活課長…古着回収ステーションの役割は、町民が持ち込む事で経費削減、回収費をかけず環境配慮を意識すること。ごみ焼却量を削減するため始めた。

質問…議会が行う予算・決算委員会は、各課へ意見書を提出する委員会ではなく質問や提案を各課がどのように検証しているか。

町長…議会・監査委員の意見書など受けとめその部署だけでなく全般に渡り把握するよう指示したい。産業振興においてもどの業種も厳しく産業効果の上よう施策を進めねばと思う。

質問…産業経済活性化連絡協議会も幹事の職員が産業振興をいかに業種の方々と協力しあい高度な町づくりの意見集約が必要では。又町の状況、人口・少子化・高齢化の町の姿を知る上でソフト事業などの委託はせず職員の手づくりでは。財源確保は自主財源をいかに増やすかであり、税滞納額を減らし収納率の向上を図ることだ。



地区懇談会の様子

介護保険が改革されたときの影響は 保健福祉課長－要介護1・2の方に影響 があるかと思われる

質問…国の社会保障制度改正のプログラム法案は、介護・年金・医療・子育ての分野で改革の方向と目標年次を示しただけのもの。この法案は自立自助の環境整備を唱え、介護保障は住民の善意にすり換え、負担増や給付の削減を押しつけるもので憲法上の社会保障から大きく逸脱したもの。当町の介護認定を受けられている方たちへの影響はどうか。

町長…少子高齢化で財政が厳しい中、将来世代へのツケを先送りするための中長期的に受益と負担の均衡がとれた制度確立のための改革と認識。社会保障4分野での改革を進める法案、細部の改革はこれからであると認識。

男女共同参画社会（以下「社会」）への 取組み宣言をしてはどうか

町長－第4次総合計画に推進を盛り込んだ。取組宣言はしない

質問…H11年に男女共同参画社会推進法が制定された。県には同条例がありH23年には基本計画が立てられた。町の現状はどうか。就任してからこれまでにどのような取り組みをしたか。

町長…推進法には男女の人権尊重をしそれぞれ個人としての能力発揮の機会が確保されること、又あらゆる分野で「社会」の形成に寄与するよう努めなければいけないと明記があ

保健福祉課長…法案の見直し内容は①要支援者のサービスは段階的に廃止し市町村への地域支援事業に移行。②利用者負担は27年度から。現1割を2割に。③施設介護支給対象者は27年度から要介護3以上の方を対象とする（例外を認める）もの。

24年度の認定者数は457名。特養待機は63名。うち要介護1・2の方は20名で新しい改革でいくと影響を受ける対象者かと思われる。が、特養への入所は例外もあり何とかクリアできるかと思う。

地域支援事業は業者に委託可能だが、保険給付利用料の上限が設けられるので指針に沿う。町独自のサービスが可能になる。ボランティアの活用、高齢者同士



小林 和子 議員

の生活介護等、様々な形のサービスが考えられる。

質問…認知症の方も増加が考えられる。支援をどうするか。保険料は払ったがサービスは使えない、控える、この様なことがないようにしっかり取り組まれない。

保健福祉課長…24年度は介護認定のうち約55% 231名の方が何らかの痴呆を有す。対応は近隣の方や各種委員、主治医等からの連絡を受け、地域包括職員が訪問し状況を把握、認定を申請する指導等をし、後サービスを提供していくという現状。

る。町では「社会」の形成に努めている。取り組みは各種行政委員会等に積極的に女性を登用する依頼もしている。現状は固定的性別役割の分担意識、社会感情等が根強く残っていて法制が整わない。「社会」宣言事業所は2件に留まっている。選挙管理委員長、教育委員長は女性が務めている。

伊豆の踊子文学祭について。朗読会・読書会・短歌・俳句の会などはどうか。

町長…祭は湯ヶ野地区観光協会が主に行っているが業者が減少している中、今後関係者と協議をしていく。

旧梨本発電所の事業化は

町長－具体的な事業化の進展はない

質問…平成26年3月迄にエネルギー庁が現地調査を実施し、事業化についての報告する約束であるが、進展があったのか…。旧発電所は町有地であり、議会の承認が必要と思うが…。

町長…10月に中間報告書が提出された。事業の可能性の調査であり、事業化の判断は社団法人IZUパワーであり、具体的な進展はない。従って町有地の賃貸借の議論はない。

大滝遊歩道の通行制限は

町長－土地の交渉は進展がない

質問…平成24年度末3,400万円の予算を不調にし、却下した。その際に、地主との交渉により進展があれば、予算計上するとの方針であった。進展は…。

滝の、安全、安心を観光客に伝える使命は大なるものがあると思うが…。

町長…町として、できる限り遊歩道の開放に向けて、努力したが頓挫した。しかし、七滝観光協会、第3者が入り協議中である。町としてしっかり進めたい。

また、世界ジオパーク認定を目指している静岡県として、河津七滝の中で最も美しく景勝に富んでいる大

見高地区地域振興施設は

町長－1月入札、夏前に完成、避難は高台へ誘導、土地契約は、継続審議中、組合は設立準備中

質問…11月に解体が完了した。今後の工事予定は…。県の第4次地震被害想定を踏まえ、修学旅行も取り込んだ体験施設でもあり、防災減災対策は…。また組合の設立、土地の契約は…。

町長…11月解体工事終了、1月工事入札、8月前に完成したい。土地の契約は、財産区と継続審議中。組合は設立準備中。県の第4次防災、減災対策は、高台への非難誘導し、安全確保を図る。

小学校の統合計画は

町長－学校の環境、通学、地域の問題等考案する

質問…第4次総合計画では「児童の減少に基づく推移に合わせて検討する。」としている。現在は西小、東

小学校とも、学年平均10名で、文部省の標準クラス人員と比較して著しく少ない。対策が必要と思う…。



坪井弘司 議員

国民宿舎の財産区協議は
町長－整備検討委員会で、解体方法、再利用について協議中である。

笹原・田中バイパスは
町長－土地の交渉は担当課で行っており、地権者と、面談していない。

バガテル公園関係
経費の支出責任は

町長－予算に計上して審議している。

質問…23～25年度の一般会計支出金の見込は、2億4,400万円となる。一般会計予算の投資的経費の67.5%に達しており、株式会社バガテル公園に対する財政支援は、会社を存続させる意味が全くなく、1日も早く経営再建に向けた出発が必要である。まさしく放漫経営であり、責任者である町長は、即刻退陣すべきである。町長は経営責任をどのように考えているか…。町長…バガテル公園は河津町だけでなく伊豆半島の観光の核である。オフシーズンの売上を伸ばしたい。必要な経費は、予算計上をして議会に諮っている。

議員研修 〈長野県飯田市〉

体験型観光振興事業の取り組み



視察議員団

事業の歩みは、平成7年より通過型の観光地から滞在型（旅の目的地）への転換を目指し「体験型」を取り入れスタートした。教育旅行にターゲットをしばり、事業展開を図った。

最初は宿泊でなく半日の体験受入であったが、お客様より宿泊しての体験がしたいとの要望があり農家民泊の受入を開始した。

事業は順調に進み飯田市だけでは受入きれない状況になり、飯田下伊那18市町全域で事業を展開する構想が生まれ(株)南信州観光公社が設立された。



南信州体験プログラム

営業内容は体験プログラム。体験旅行のコーディネート。体験プログラムの企画開発・受入指導。一般旅行業務。観光案内所の運営等である。

体験プログラムの内容は、市街散策、自然体験、農林業体験、味覚体験、伝統工芸クラフト体験、スポーツ体験、原生活体験、野外活動、観光見学、等いろいろ体験できる。

すべての体験は地元の事業者、個人、グループ、専門業者に委ねている。

すべてお客様から料金をいただくシステムとなっている。

一部事務組合報告

消防組合議会

10月24日臨時会が開かれた。議案は1) 下田地区消防組合職員の給料臨時特例に関する条例制定、2) 消防施設等整備基金条例の制定、3) 組合会計補正予算に関連するもの。これらは消防施設整備事業の財源確保にあたり、財政状況を考慮し、職員給料減額の特例期間を設ける。また新たに施設整備基金を創設する。それらの補正である。いずれも可決。

東河環境センター議会

9月25日、平成25年第2回定例会が開かれた。平成25年度補正予算、24年度決算認定の2案件が審議され、いずれの案件も可決認定された。

補正予算は光熱水費、財政積立金の増により、37千円を増やし総額665,109千円とした。

決算認定は、歳入696,836千円、歳出649,373千円であり不用額46,468千円となった。主な歳出は、し尿

処理費、塵介処理費、公債の返済等が主な支出である。なかでも、光熱水費や修繕費が増加した。尚、24年度末の財政調正基金は2千万円余増加し、161,342千円となり、将来の大修繕に対する費用の積立も継続して実施した。

●議員全員協議会●

11月1日、議員全員協議会が開かれた。ごみ処理施設についての、大規模改修することで、施設の長寿命化を図ることの検討がされた。



川下英一 議長

議会の動き

<議長の活動>

- 9月・県町村議長会(静岡市)
- 10月・県町村議長会総会
 - ・自治功労者表彰者 坪井弘司・山田 勇 萩原清男・宮崎啓次 川下英一各議員
 - ・郡議長会
- 11月・町村議会議長全国大会(東京)
 - ・郡議長会県外視察
 - ・郡議長会議員研修会(河津町で実施)

<町議会の活動>

- 9月～11月
 - ・例月出納検査報告
- 10月・議員月例会
- 11月・議員研修(飯田市)
- 12月・議会運営委員会
- 9月～12月
 - ・議会広報編集委員会

<常任委員会活動>

- 10月・監査委員全国研修会
 - ・社会福祉協議会
 - ・文化の家運営協議会
 - ・国保運営協議会委員研修会
- 12月・社会教育委員会

<一部事務組合>

- 9月・東河環境センター議会
- 10月・下田地区消防組合臨時議会
- 11月・東河環境センター議会全員協議会
 - ・一部事業組合下田メディカルセンター監査

<議長に要請の諸会合>

- 11月・富士箱根伊豆交流圏市町村サミット

- ・身体障害者福祉会
- ・縣市町村対抗駅伝大会

<町の行事>

- 9月・河津中学校運動会
- 10月・さくら幼稚園運動会
 - ・町民体育大会

月例会

10月30日。国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所の翠副所長を迎えて、「伊豆縦貫自動車道の整備」についての勉強会を行った。伊豆半島における人口・地域経済・観光・自然災害・高次医療などの現状認識から始まり、計画概要と整備効果について学んだ。伊豆縦貫道は、5区間の内、河津下田道路のように4区間が何らかの動きがあり、今年2月11日に開通する東駿河湾環状道路もある。その一方で、天城峠道路のように、基本計画区間として手がつかずの区間もある。この区間は河津町にとって、最も大切な区間である。ここが出来なければ、臥龍点睛を欠く。議員が行政や町民と一体となり、国に対し働きかけを強めることが求められているとはっぱをかけられた。

○訂正○ 第59号、定例会日程。誤)9月11日～20日。⇒ 正)9月10日～20日

編集後記

今年は午年。夢も計画も実践も全ての事がうまくいくように皆様のご支援をよろしくお願いします。(土屋 貴)

- ・ふれあいまつり
- 11月・戦没者招魂祭
 - ・河津町表彰式
 - ・青少年の主張大会
 - ・社会福祉大会
- 12月・地域防災訓練

賀茂郡議員研修会

11月18日。議員研修会の講師として、元多治見市長の西寺雅也先生を迎えた。地域社会が「縮小」の時代に入る認識のもと持続可能な地域づくりと首長の役割と題して講演を頂いた。

その要点は、

- 1) 市民自治の確立を目指し、「使える自治基本条例」を制定すること。
- 2) 政策全体を管理するものとしての「総合計画」を作ること。
- 3) 財政規律を確立すること

これらの事を実践するには、今だけではなく、将来の地域社会を展望できる首長。職員の意識を変え、組織を活性化できる首長が求められる。その実現には、議員の想像力を高め、政策形成能力の向上がなによりも必要であると示され、議員のより一層の努力を求められた。